

FOREX 森の土づくり研究室

3つの約束

① 確かな原料で、こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、しっかり確認



開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

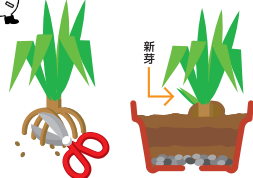
③ 責任をもって、サンプル保管



培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。



植え替えのポイント!



株を鉢から抜いたら、枯れた葉や傷んだ根を取り除いてきれいに整理します。ひとまわり大きな鉢に新芽の伸びる方向に指2〜3本分くらいのスペースをあけて植えつけます。



栽培カレンダーはコチラ!

水やり 植え替え 肥料

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シンビジウム	少なめ	日中気温が上がってからのたっぷり与える	植え替え・株分け	置き肥・新芽が伸び始めた後(月1回交換・液肥 7〜10日に1回、水やりがわりに与える)	なるべく夕方あたりにたっぷり与える					少なめ		
洋らん												
デンドロビウム	少なめ	日中気温が上がって気温が低いから少量与える	植え替え・株分け	置き肥・新芽が伸び始めた後(月1回交換・液肥 7〜10日に1回、水やりがわりに与える)	なるべく夕方あたりにたっぷり与える					少なめ		
カトレア	少なめ	日中気温が上がって表面が乾いたら少量与える	植え替え・株分け	置き肥・月1回交換・液肥・月2回給餌・水やりがわりに与える	なるべく夕方あたりにたっぷり与える					少なめ		

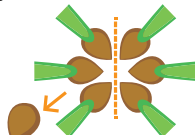
※環境が異なる場合はこの限りではありません。

(関東標準)



栽培のコツ!

株分け



鉢の中が根でいっぱいになったら、株分けをします。1株が3〜5バルブになるように均等に切分けますが、葉がない古いバルブは切り取ります。

花茎切り



株の栄養を温存し、新芽の生長にまわすために、開花後の葉が傷み始めたら、花茎のつけ根で切ります。

芽かき



シンビジウムはとても生長旺盛なランであり、1つのバルブから沢山の新芽が伸びてきます。全て育てると栄養が分散してしまうので、1つのバルブから一番最初に出てきた元気の良い芽だけ育て、後の芽は全て摘みます。摘む時は、新芽の根元の部分を指先で左右に揺ります。

置き場所



12月〜5月
日当たりの良い室内で数時間、日にあてます。日中たまに窓をあけると、より健康的に育ちます。

6月〜11月

戸外に出すのは5月の連休以降から。明るい日陰で風通しに気を付けます。なるべく西日避けられる場所を選んでください。

水やり



春夏は「たっぷり」
生長期である春から夏は表面が乾いたら水やりをします。量は鉢底から少し流れるくらいです。

秋冬は「少量」
表面が乾いてから4〜5日後に与えます。量は夜や時間が経ってから流れ出てくるくらいです。

商品名	シンビジウム・洋らんの土
主要配合原料	火山性砂礫、バーク、ココヤシチップ など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.5±0.5
肥料配合の有無	無

注意
● 乳児・幼児の手に届かない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空き袋を破らかが飲んだりしないようにしてください。
● 廃棄多量などの環境下になるとコケやカビ等が発生することがありますが、品質の影響はありません。安心してお使いください。
● 肌の弱い方、アレルギーのある方は、手袋等をつけて作業を行ってください。



FOREX 森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
Eメール: forex@forex-mori.com
ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>
万一品質に不具合がありました時は、上記フリーダイヤル・Eメールまでお問い合わせください。



ごみに出すときは
自治体の区分に
したってください。

シンビジウム・洋らんの土 5ℓ

